

授業と評価の年間計画

教 科	家庭	科 目	家庭基礎	
履修条件 対象生徒	選択 普通科 2年			
学習目標	<p>人の一生と家族・福祉・衣食住・保育・消費生活・環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。</p> <p>学んだ知識と技術を生かして、各自の家庭生活や地域の生活に深い関心を持ち、課題を見いだし、これらを改善充実しようとする積極的な態度を身に付ける。</p>			
学習方法	<p>【授業】 具体的な事例や実験・実習などを通して、自分の生活に結びつけて学習できるよう問題解決的な授業を重視する。</p> <p>【家庭】 学習で得た知識や技術を実際の生活に活用する。 夏季休業を活用し、「ホームプロジェクト(Home Project)」に取り組む。</p> <p>【補習・その他】 学校家庭クラブ活動において家庭科で学んだ知識や技術を生かして、クラブ員全員が、学校・地域社会・家庭に対して、下記に示す研究的・奉仕的・社交的な活動を行う。</p> <p>(1) 研究的な活動：講習会、保育所訪問、ホームプロジェクト等 (2) 奉仕的な活動：朝清掃、老人ホーム訪問、花壇の手入れ等 (3) 社交的な活動：文化祭バザー、テーブルマナー講習会等</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 家族の生活と健康(衣生活)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジを使った一品料理の実習により、簡単に手早く調理する。 ・家庭科技術検定被服製作4級の練習と検定の実施により、ミシン縫いや手縫いの基礎的な技術と知識を身に付ける。 		
	2 2学期 (1) 期末考査まで ア 家族の生活と健康(食生活) イ 人の一生と家族・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科技術検定食物調理4級の練習と検定の実施により、切り方、計量など調理に関する基礎的な技術と知識を身に付ける。 ・郷土料理や行事食の調理実習を行い理解する。 ・家庭科技術検定保育技術4級の練習と検定の実施により、造形表現技術、音楽・リズム表現技術、言語表現技術、家庭看護技術の基礎的な技術と知識を身に付ける。 		
	3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 家族の生活と健康(衣生活) イ 人の一生と家族・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いや手縫いの基礎的な技術を活用し、被服製作に取り組む。 ・高齢者体験や福祉の現状を知ることにより、今後の生き方を考え、人生設計に取り組む。 		
	4 1年間を通して (1) ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・松山南高校家庭クラブの一員として学習や行事に参加し、「創造」「愛情」「勤労」「奉仕」の精神を身に付ける。 		
評価基準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題・提出物、家庭クラブ活動を総合的に判断して評価する。			
そ の 他				

